



アの玄関の役割を果たし、世界の諸都市に負けない魅力ある都市にするためには、九州は全体で人口二千三百万人、GDP四十七兆円ですので程よい大きさと考えています。

**問 今後の取り組みを聞かせてください。**

**答** 将来に向かって、より良い日本と住みやすい地方を創るため、引き続き努力してまいります。時間はかかると思いますが研究と啓蒙活動を積極的にを行い、多くの方に理解していただくようにいたします。

「問二答」「教育」  
— 教育が国の形と将来を決める —



これまで教育問題に熱心に取り組んできたあがた善彦議員に、三期十二年の活動を聞きます。

「聞き手 編集局 小野るみ」

**問 教育についてのどのようなお考えをお持ちですか？**

**答** 教育は人を創り、人は国を創ります。良国を創るためには教育が最も大切だと考えます。教育とは学校教育だけを指すものではなく、将来の日本を考えた時、今の教育は心配でなりません。中国の抗日活動の中心は戦争を知らない若者世代で、国策教育によって作られ

たものです。私たちは今まさに社会全体で真剣に教育問題に取り組まなければならぬ時代に直面しています。

**問 一般質問で教育問題について意見を述べておられますが成果はありましたか？**

**答** 三年前「教育力向上福岡県民会議」が立ち上がり、県民運動が推進されています。私にとっては大きな成果です。また教師の十年ごとの免許更新制度も他の自治体と共同で訴え続け、安倍政権において実現いたしました。

**問 教育が現在の若者にどのような影響を及ぼしていますか？**

**答** ものごとに情熱をもって取り組む「チャレンジ力」と、簡単にあきらめない辛抱強さ「忍耐力」が不足しているように感じます。これは日本の物質的な豊かさと、戦後教育の結果だと考えます。教育は知識と同時に心を育てなければなりません。親や家族を思う心、人を思いやる心、国を思う心。これらは特殊な国と状況を除き、普遍的で世界中どこでも尊敬される概念です。近隣諸国ことに中国・韓国には、しっかり勉強し将来国を背負って立ちたいという若者がたくさんいます。日本はこのままではアジアに、世界に置いて行かれます。志高くやさし



北九州学術研究都市

い若者を育てるのが我々大人の責務です。

**問 今後どのような活動を行いますか？**

**答** 教育力向上県民運動は、「一.学ぶ意欲を高める。二.自尊心を育む。三.規範教

育。四.体力の向上。」の四点を柱としています。現在は六教育事務所で学校単位に進められています。この運動をさらに推進してまいります。